

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		運動課題は広い部屋で行い、机上の活動は個別スペースと内容に寄って行う場所は替えるようにしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	88%	12%	配置は満たしているが、状況に合わせて1対1で療育支援にあたっている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	88%	12%	絵と文字が描かれた表示を使用する事で子どもにもわかりやすい様に構造化している。場面で順序立てて伝えた方が良い表示はその時の状況で事前に作成して置き使用するようになっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%		使用したものはしっかり消毒し、子どもの目に触れない様にあった場所に戻す様にしている。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	88%	12%	まずは話し合っ「やってみよう」と取り組んでいる。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		保護者に評価表のアンケートの記入をお願いした。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		毎年評価を公開開示する様にしている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12%	88%	今現在は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		職員会議の際に研修内容を替え行っている。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%		子どもの発達段階をまずは保護者に確認して、その後職員間で話し合い実施している。計画書が適正かどうか確認している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		支援の内容は状況に合わせて変わる為その状況に合わせて、見直している。
	⑫	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%		家族支援として親子療育を実施したかったが、コロナ渦により実施が難しかった。地域支援も外出が難しかったため自粛していた。今後外出や密に対し緩和される事が予想される為状況に合わせて支援を実施して行きたいと考えている。

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		職員全員に計画書を周知する様にして今現在の取り組みの内容を伝えている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		担当だけでなく、職員に意見を貰い立案する様にしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		固定化して毎回同じ内容は積み重ねで実施している。設定療育は毎回内容を変え支援している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%		その子の発達段階に応じて机上活動、運動課題活動を考え、状況に合わせて集団場面にしたり、個別訓練にしたりと取り組んでいる。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		その日の役割分担について話合いの時間を作り打ち合わせする様にしている。朝礼と昼礼2回
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	12%	その日、その日で子どもの様子に変化は見られる為、様子の確認を行いこれはどうかと職員同士提案する様にしている。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	12%	その日に合った特記すべき事を記入するようにしている。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		定期以外の時期にもこの内容で支援は合っているか確認し、計画書に書かれている内容以上の事を行うようにしている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス等担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	88%	12%	その子にとって関わりが深い職員が必ず行くようにしている。
関係機関や保護者との連携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		コロナ禍で実施できていなかったが、今後親子療育も実施し、子どもとの関わり方の支援、相談できる場所を提供していきたい。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	24%	66%	今現在は医療的ケアが必要な児童は利用していない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	24%	66%	今現在は医療的ケアが必要な児童は利用していない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		保育園や認定こども園、幼稚園にてその都度子どもの様子を聞く事でその子の状況の確認、事業所でやるべき課題を把握するようにしている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		入学する際には会議の場面を作り移行支援を行っている。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		専門機関と連携して情報を貰ったり、専門指導の職員がお互いの情報を伝えあう事で連携を図っている。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12%	88%	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は行っていないが、公園や公共施設に行く事で一緒に過ごす機会を作る様にしている。
	㉒	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%		会議に参加し、行政の状況等情報集めるようにしている。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		送迎の際や電話連絡ツールを使用し、その場に合った支援内容を保護者に確認し共通理解を図っている。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	24%	66%	コロナ渦で実施できていなかったが、今後親子療育も実施し、子どもとの関わり方の支援、相談できる場所、保護者同士の関わりを提供していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		重要事項の説明を詳しく行っている。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		その子に取っての目標やねらいを確認し実施する様にしている。うまくいかなかった時には内容を変え、取り組むようにしている。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		送迎の際や電話連絡ツールを使用し、その場に合った支援内容を保護者に確認し必要な支援の方法、助言、実際に自宅にお邪魔し設定の見直しを行っている。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	36%	44%	今後親子療育の中で保護者同士のつながりが持てる様になると良い。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		保護者様からこうして欲しい等の要望があった際には状況に合わせて可能な限り対応出来る様に努めている。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		行った内容を写真や連絡ツール等で伝える様にしている。送迎の際に話をしている。
	㉛	個人情報に十分注意しているか	100%		保護者に同意を貰い写真の掲載をしている。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	88%	12%	保護者だけでなく子どもの気持ちも尊重し配慮している。
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12%	88%	ゴミ拾い等実施している。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル作成してあるが、見れる場所に置いてあるだけになっている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		月1回実施し、消防署にも見学に行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%		子どものアレルギーの状況や薬の有無等確認する様にしている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	88%	12%	今現在アレルギーを持っているお子さんは利用していない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		こんな時は気をつけようと話合いの場面を持っている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		こ職員会議の際虐待に関する研修会を行い職員に対し内容の把握を促した。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%		子ども、職員に対し、危険が及ぶ時には身体拘束も有無負えないが保護者にその際には説明をし、計画書に明記する様にしている。